

議事録名：潤生園定期巡回随時対応型訪問介護看護 平成 29 年 10 月 15 日 介護医療連携推進会議			
日 時	平成 29 年 10 月 15 日 (土) 13:30~14:30	議事録	10 月 15 日 書記：E
場 所	潤生園 みんなの家 ほたるだ		
出席者	<input type="checkbox"/> A様 ケアマネージャー 小田原医師会訪問看護ステーション <input type="checkbox"/> B様 ケアマネージャー 地域包括支援センター東富水 <input type="checkbox"/> C様 地域の医療関係者 潤生園訪問看護ステーション <input type="checkbox"/> D 事業者 潤生園訪問サービスセンター 管理者 <input type="checkbox"/> E 事業者 潤生園訪問サービスセンター 計画作成担当者		<input type="checkbox"/> 出席
資 料	・出席者名簿 ・平成 29 年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 稼働実績表 以上、事前配付・当日配付		
議題及び議事内容			議決事項
1. 開会挨拶 管理者より開会の挨拶を行う。 2. 出席者紹介 出席者の紹介を行う。 3. 平成 29 年度 運営状況報告 【8月】 利用者数:28名(新規3件・終結3件) 訪問看護利用者:医療保険での利用を含めて7件 【9月】 利用者数:27名(新規2件・終結3件) 訪問看護利用者:医療保険での利用を含めて7件 ▼終結者理由 【8月】 ・自宅で看取り・病院で永眠・家族対応 【9月】 ・自宅で看取り・病院で永眠			

▼状況報告

- ・指定訪問介護から定期巡回へ移行したケースの場合、指定訪問介護のケアをそのまま行ってしまうと、長時間滞在でのケアになる傾向にある。短時間滞在の定期巡回へのケアの再構築が課題となっている。
- ・定期巡回の利用を検討する着眼点がケアマネージャーによって違う。本来の短時間で複数回訪問の必要性があるプランではなく、自費分が出てしまう等の理由で利用するケースもみられる。

4.利用者状況報告

- ・認知症で独居の方が白内障術後の対応として、1ヶ月程1日4回点眼助・安否確認の為、担時間の複数回訪問を行った。
- ・ターミナル期独居で在宅療養を希望の利用者を訪問看護・往診医と連携して体制を整えた事により、亡くなる1週間程前には1日10回の訪問対応をし、自宅での看取りを行えました。

5. 質疑応答

- ・サービスについて

A様：認知症・喫煙者・独居・生活保護受給者の利用者に小規模多機能の利用を検討したが、人員の問題で在宅時の夜間のヘルパー訪問が行えないと言われたケースがある。

D：小規模多機能の利用が良いケースがあっても、現状空きがなく、夜間の訪問を行っていない事業所がある。

A様：外出が出来ない方や好まない方には、小規模多機能の利用があっていると思います。定期巡回では、要求の多い利用者の対応や、短時間の訪問で利用者と信頼関係をどのように構築していくのですか？

D：ご利用者の要求に関しては、必要性があれば行う。短時間の訪問でもケアを行いながらコミュニケーションはとれるので、訪問回数を重ねていく事で信頼関係は築いていきます。

B様：ケアマネのプランとのすり合わせて、訪問計画を立てていくのか？

D：訪問してケアプランが現状に合っていないようなら、その都度ケアマネに連絡をして、訪問回数や時間の調整を随時行っていく。

C様：その時の体調や状況によって、事業所の判断で臨機応変に対応している。8月に逝去された方で、独居のターミナルを在宅療養を希望される肩の看取りを定期巡回で行えた。亡くなる2週間前には、飲水も出来ない状態になり、食事の時間に合わせてヘルパーの訪問を行って対応した。1週間前には1日10回の訪問を行い、夜間のヘルパー訪問の際に息を引き取られ、死後処置をヘルパーとナースで一緒に行えました。指定訪問介護では、在宅の看取りは難しかったが、柔軟な対応を取れる定期巡回なら、ターミナルケアのケースでも安心して行える。

B様：定期巡回随時対応型訪問介護看護実績表について、逝去の中に分類があると、在宅で看取りなのか状況が分かりやすい。

6. 閉会の挨拶

管理者より閉会の挨拶

・次回の予定：平成29年12月16日（土）13：30～

潤生園 みんなの家 ほたるだ